

2009.4.28



## CONTENTS

- 2 準備書への意見 / 地元での説明会
- 3 防衛省・環境省・外務省との交渉
- 4 SDCC第9回総会報告
- 5 はじめて署名に取り組んで
- 6 アースデイ東京 2009 に出店参加
- 7 野生生物を守ることは生活を守ること

たしかに風向きが変わってきたように感じる。サンフランシスコ連邦地裁での沖縄ジュゴン訴訟の勝利。泡瀬干潟工事差し止め訴訟の勝利。与野党逆転による辺野古新基地建設反対決議。米軍再編に伴うグアム移転協定反対決議など、沖縄県議会野党の着実な努力があって、サン島の沖繩に吹き寄せる風はさわやかに変わってきている。

そんな政治状況に困惑する日本政府は、とうとう「普天間代替基地移設をグアム協定はリンクしない」と口走ってしまった。驚いたのは米国政府だと思う。普天間基地問題を日本の国内問題としてうまく処理させ、名護市辺野古への新基地建設を目論んできたものの、どうも雲行きが怪しくなっている。日米両国とも経済不況のあおりを受け、米軍再編やグアム協定などでの軍事費予算の正当性を主張するにしても、苦しい立場に追い込まれている。

## サンの島の風

SDCC 共同代表 海勢頭 豊

「シマを守るから縄張り料をよこせ!」とばかりに、自由に国防予算をせしめてきた彼らの恫喝にも、人々は恐れを示さなくなってきた。そんなことより自然環境の悪化で人類が滅亡してしまうことの方が、解決を迫られた重大問題となっている。

来年名古屋で開かれる生物多様性条約第10回締約国会議も、この人類の危機に対処するためのもの。議長国である日本の姿勢が世界から問われることになる。そんな重大な時に防衛省が辺野古新基地建設に向けてのたためなアセス準備書を出してきたものだから、SDCCとしてはジュゴンを守る立場から、早速4月17日に防衛省、環境省、外務省に出向いて不備について問いただした。「ジュゴンを保護せよ」と命じた連邦地裁判決の重さも認識しようせず、対応する各省役人の態度を見ながら、私は風の変化を感じていたのである。それにしてもSDCCメンバーの活躍は明るく物怖じしないところが素晴らしいと思った。

[ WEB ] <http://www.sdcc.jp/>

[ EMAIL ] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)



4/18-19 代々木公園のアースデイ(3面参照)



4/21 大阪でアセス準備書学習会を開催 意見書を書きました



## 準備書への意見 ジュゴン保護のための調査を



**英語版の作成** 普天間代替施設建設事業の準備書概要が4月2日に、本編が9日に沖縄防衛局のウェブサイトへアップされました。前回の秘密主義的な方法書に批判が集中した結果です。沖縄ジュゴン保護は国際的な問題でもあり、準備書の英語版作成を求めます。

**欠陥準備書** この準備書の問題点の第1は、5400ページの膨大な量にもかかわらず肝心の飛行場の位置や埋め立て土砂1700万 $m^3$ の購入先が先送りされ、米海兵隊が12年秋から配備するオスプレイについて触れていません。建設位置を6案上げて検討していますが、これは沖合案を求める沖縄県や土建業者への配慮にすぎません。指摘した3点を直ちに明らかにすべきです。

**辺野古にジュゴンがいない?** 問題点の第2は、「辺野古にジュゴンがいない」との調査結果です。環境省や環境団体の調査結果に反するからです。辺野古はジュゴンにとって最大の餌場で、沖縄防衛局の調査でも75.9トンの海草が生えています。食み跡が発見された嘉陽の海草藻場は辺野古の東5キロ地点で、9.5トンしか生えていません。嘉陽に生息しているジュゴンが大浦湾や辺野古には行かなかったと沖縄防衛局は断言し、この疑問点を検討していません。沖縄県が沖縄防衛局による水中ビデオの設置がジュゴンに回避行動をとらせる危険性があると指摘していたことを忘れてはなりません。疑問を解決するための調査を継続すべきです。

**海草藻場はジュゴンの命** 問題点の3は、基地建設で破壊される海草藻場、78ヘクタールを保全しない態度についてです。沖縄防衛局は「(海草移植の)実行が容易でない」からと敬遠し、「生育範囲の拡大に関する方法を検討する」としています。海草藻場を保全しなければ、ジュゴンの餌場が失われ個体維持が困難になります。破壊される海草の保全策を検討すべきです。

**独善的な姿勢** その他、沖縄県が方法書段階で求めたジュゴンの複数年調査や騒音対策のためのデモ・フライトをしていないことには一切コメントしていません。また、ジュゴンなどのアセスメントについては定量的な把握が求められていますが(06年3月30日環境省告示87号)、沖縄防衛局は「専門家等から指摘がなかった」と居直り、その専門家の氏名の公表すら拒否しています。専門家の氏名の公表と、出された意見に回答することを求めます。



久志支所での「準備書」説明会

## 地元での「準備書」説明会

4月22日に名護市瀬高の久志支所にて、市民住民ら約110人が参加するなか、普天間代替施設建設に伴う環境アセス「準備書」の説明会が行われました。2時間という限られた時間で、沖縄防衛局が地域住民の懸念にどれだけ答えることができるのかが問われた説明会でしたが、オスプレイの配備や、基地建設による海岸の変化など住民の懸念する事項についてはいっさい触れず、「資料」の棒読みで終始しました。また市民住民からの質問も、時間を理由に4人で打ち切れ、その回答も満足なものではなく、「説明会」の体をなすものではありませんでした。

ジュゴンについては、防衛局のアセス調査の結果を根拠に、ジュゴンが「大浦湾に進入する可能性は低い」と説明し、海草藻場については「6検討ケース」(6代替案)よりは「計画案」のほうが藻場への「影響が少ない」ことを強調しました。結局、多くの問題を含んだ「準備書」の結論を繰り返すものでした。環境省やNGOが示してきた辺野古沖でのジュゴンと海草藻場の棲息データと、今回の防衛局のアセス調査結果のギャップについてはいっさい言及しませんでした。私も含めて多くの人々がジュゴンに関して質問したにもかかわらず、ジュゴンや海草藻場に関しては質問する機会さえも与えられませんでした。

23日には宜野座村松田で、24日には辺野古で「説明会」が行われますが、同じような形で説明会が行われ、紛糾することが懸念されます。SDCCとしては、この「説明会」を含めた「準備書」ならびにアセスそのものの問題点を指摘し、それを「意見書」に反映させていく。そして、国内外の専門家に意見を求めていくことを緊急の課題として取り組んでいく必要があると思います。

吉川秀樹



## 報告

## 防衛省・環境省・外務省との交渉



準備書の現地説明会前の4月17日に防衛省、環境省、外務省との交渉を行いました。

防衛省のアセス担当課と間違ふほど「環境省ショック」を受けた交渉から1年半ぶりです。今回は、膨大で荒っぽい論理の準備書に自信のない答弁が続出しました。以下、特徴的な答弁を取り上げます。

**（防衛省交渉 説明できないので意見の提出を）** 辺野古でジュゴンが見つからなかった理由については、「調査の結果を述べるのが準備書、分析は必要ない」と居直りました。基地建設で破壊される海草藻場78%の保全についての検討結果がないことについては、「説明できないので意見を出してほしい」と説明責任を放棄しています。全国の埋め立て土砂1年分にあたる1700万m<sup>3</sup>の購入先が決まっていなにもかわらず、「海草やサンゴに影響はない」とぬけぬけと言う一方、掘り返される地域に与える影響については「業者が考えること」と無責任な態度に終始しました。他に、意見提出期間の延長や英語版の作成は考えていない。知事意見にあるジュゴンの複数年調査や騒音調査のためのデモフライトは必要がないと着工優先の姿勢を露骨にしました。

**（環境省 注視するだけ）** 「環境省の調査結果と基本的に変わらない」、これが準備書に対する態度です。複数年調査を求めるかどうかは「意見を出した沖縄県の判断」。辺野古で食み跡や糞が見つかった環境省調査との違いは「防衛省に聞くべきこと」、「公告縦覧中なので注視している」とコメントを拒否しました。ジュゴン保護を求める追及には「環境アセスと野生動物保護は別問題」と環境省の役割を否定する言葉にばつが悪くなったのか、「評価書への大臣意見や普天間移設協議会などでタイミングを見て意見を言う」と逃げ腰になりました。さらなる追及に、「言いますよ」と力ない言葉で終わりました。

**（外務省 ジュゴン保護は重要な問題）** 来年10月生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）を前に、はじめて課長補佐が出席して「ジュゴン保護は重要な問題」とともにCOP10を成功させたい」と協力を求めました。しかし、COP10にジュゴン保護のIUCN決議を議題に取り上げるかどうかは「関係国との調整」。今秋のジュゴン保護覚書国際会議への参加は「わが国の立場をふまえて検討する」と消極的。ジュゴン訴訟については「係争中なのでコメントできない」と後ろ向きの態度に終始しました。

## 『三省交渉に参加して感じたこと』

4月17、18、19日の3日間“東京ツアー”と称して、関西から5人のメンバーで「三省交渉・総会・代々木アースデイ」に参加しました。東京・沖縄スタッフと共に活動できた3日間はとても楽しく、有意義で充実した時間でした！

17日の三省交渉は、初めての体験でしたが、ドキドキ緊張しながらも楽しみました。このチャンスを活かさなくちゃ！私が伝えられることは何だろう？どんなふうに伝えよう？と精一杯考え臨みました。「自然豊かな海を、ジュゴンを守りたい。すべての生命が安心して平和に暮らせる世界を創りたい」そんな思いを少しでも伝えたいと思っていました。

そう簡単に伝わるものでもなく、予想はしていましたが役人然とした受け答えに終始一貫という感じでした。しかし、参加したことで、今後の効果的な活動の方向、私ができることも見えてきたように思います。直接交渉の場で、私たちの声により影響力を持たせるには、やはり市民の関心の高さが後押しになると思います。国会請願署名集め、アセス準備書への意見書提出にますます力が入ります！

あの場を思い返して一番強く感じるのは、同じ地球（星）に生きる人として、立場を超えて、未来のこと、本当に大切なことを話し合えたら良いなということです。そこへ向けて一緒にがんばりましょうね！ 池側恵美子

環境省との交渉



# SDCC第9回総会報告

4月18日(土)18時30分から渋谷勤労福祉会館で第9回SDCC総会を行いました。

代々木公園でのアースデイ(第1日目)で、国会請願署名を1日で1040筆集めた心地よい疲れを感じながら2時間の総会をパワーポイントや音楽などを使って、方針を練り上げました。総会開始を待つ間タイのカンジャンナさんから送られたDVDを見ました。カンジャンナさんのジュゴン研究やジュゴンの泳ぐ映像は迫力がありました。

総会は月桃の花歌舞団の歌とメッセージから始まりました。

海勢頭代表はあいさつで三省交渉で自信無げな答弁をする政府の姿を見て、「空気は変わった」「計画はつぶせる」と発言しました。WWFジャパンの花輪さんも連帯のあいさつで、「高江のヘリパッド建設工事を強行していないこと、泡瀬の干潟の工事が中止となった」ことなどからみても空気は変わってきているとの受け止めを紹介しました。

論議では、1万3千筆の署名の現状をふまえて目標の5万にむけて、アースデイ2日目やメーデーなど5月連休の大胆な取り組みで2万の大台を超えて目標に近づく取り組みをすることの決意が出されました。署名は5月連休明けの解散総選挙の動きを見ながら、5月20日をめどに提出を、また、準備書への意見は5月15日までに提出する運動を広げることを確認しました。7月第1週の金、土、日にジュゴンの里ツアーを、10月16日プレ国際ジュゴン年海勢頭豊コンサートを月桃の花歌舞団とともに取り組むことを、秋のジュゴン保護賞書国際会議に代表を派遣することなどを、パワーポイントを駆使した活発な論議で方針を作り上げました。最後に、人事の再任と予算決算について承認されました。方針・決算予算は同封の資料をご覧ください。



## 総会に参加して

4月18日は東京の渋谷勤労福祉会館で第9回のSDCC総会が行われました。会場は、この週末に催されたアースデイの会場からすぐ近く、関西から参加した5人を含め首都圏・沖縄メンバー皆で歩いて向かいました。今回は、国会請願署名の締め切り前であることと、環境アセスの準備書の公告縦覧が始まったタイミングでもあり、緊張感のある内容となりました。琉球新報の方もしっかりメモをしておられました。アセスの手続きが着々と進められる中、その数々の問題点に対し多くの意見書を募り、なんとしても調査のやり直しをさせなければ、と強く思いました。同時に2010年生物多様性年を見据え、プレ国際ジュゴン年コンサート始め多くの活動方針が明らかにされ、ますます活動が増していくことが実感されました。是非とも会員を増やしこの勢いを盛り上げていかないと、と感じる中新しいメンバーの紹介もあり、とても勇気付けられる総会でした。頑張るぞ～～！

海勢頭 聖

# はじめて署名に取り組んで

署名は初めて取り組みましたが、これ程大変な事とは思いませんでした。まず、個人情報の保護が叫ばれる昨今見ず知らずの人から、名前と住所という非常に重要な情報を頂くということの難しさを実感しました。また、ジュゴンという身近ではない動物の窮状を理解して頂くという難しさを感じました。

僧をしている父は現在 2000 筆近い署名に成功しています。その成功の秘訣を聞いたところ、「袈裟を着ているから」と言われました。それは署名を求めている相手の社会的信頼が目で見分分かるからと言う事だと思います。私がすぐに目に見える社会的な信頼を得ることは難しいとは思いますが、少なくとも頂いた署名に関しては紛失等で信頼を失うことが無いよう手元にある分だけでも厳重に扱っていきます。

今後は野生動物の保護という観点から、共感して頂きやすい「動物」「環境」「海」などと言ったキーワードを持つ団体や個人などを巻き込んで署名活動したいと思います。できれば他の団体さんのイベント等に出席させて頂き署名させて頂くことを狙っています。1 人でも多くの署名が頂ける様に、また仮に署名が頂けなくても多くの人にジュゴンの危機的状況を伝えていきたいと思っています。

小西祐伸



お寺で署名活動



現在 15,000 筆



## 国会請願署名の現状

SDCCでは、今国会への提出を目指して、ジュゴン保護の国会請願署名に取り組んでいます。署名数は4月20日現在で約15000筆になりました。このうち会員の皆さんや各種環境団体、平和団体、労働組合などから事務所に送られてきた署名は約7500筆、ありがとうございます。この連休にも色々なイベントに参加し署名を集めますが、目標5万筆に達するためには、皆さまのご協力が是非とも必要です。署名締め切りは5月11日、提出は5月20日ごろを予定しています。よろしくお願いいたします。

世界中の人が署名できるインターネット署名にも取り組んでいます。宛先は麻生首相、オバマ大統領宛て。英文ですがSDCCホームページに日本語での解説があります。  
<http://www.sdcc.jp/iucn/internet-petition.html>  
 4/24 現在 252件 42カ国の方からの署名が集まっています。署名を海外へ発信することで、海外の団体とのつながりも出ています。こちらへの署名もご協力よろしくをお願いします。

一筆せん「ジュゴンの伝言」が出来上がりました。

よろしく〜!ジュゴンの伝言です



売上で、カラーのステキなジュゴンリーフレットを作ります。24枚入り(3柄×8枚)で1冊200円です。ぜひお申し込みください。

送料は1冊90円 2冊140円 3~4冊200円  
 ~7冊240円 7冊以上は一律390円

# Earth Day Tokyo 2009 に出店参加

桜の花も散り、木々に新芽が芽吹いてきた4月18・19日に沖縄・大阪・東京のスタッフが代々木公園に集結してパワー全開！！NPO、NGOを中心としたアースデイ東京が代々木公園イベント広場で2日間行われ、SDCCは数年ぶりに参加しました。

2日間晴天に恵まれた今回は、沖縄から、大阪から元気いっぱいスタッフに参加。東京からは新しいスタッフに加え3人の女子大生もお手伝いに来てくれました。皆さんありがとうございました。

なんと、関西に続けと代々木公園に着ぐるみジュゴンちゃんがデビューしました。小平ジュゴンちゃんは、汗だくになりながら国会請願署名のお願いに公園内を巡回しました。やはりジュゴンは人気者で注目を集め、人々のカメラに納まっていた。さらに、関西チームの人形劇「環境アセスってなあに？」でジュゴン保護をアピールしました。

“あっ ジュゴンだ” “辺野古に行ってきました” “沖縄にジュゴンがいるの？”などと多くの人々が足を止めて説明を聞いてくれ、快く署名に応じてくれました。ジュゴン折り紙の効果は大成功で、可愛い！と皆さんから素敵な笑顔が返ってきました。手持ちのジュゴン折り紙がすべてなくなり、折り紙作りに大忙しでした。

2日間で1900筆近い署名（初日1040筆、2日目800筆、英語版16筆）が集まり、ジュゴングッズの販売も上々でした。大勢のスタッフの協力で2日間大盛況で、久しぶりにお会いした方、はじめての方と一緒に活動でき、賑やかなアースデイでした。楽しかったですね。

17日の三省交渉、アースデイ&総会と3日間参加された皆様、忙しいスケジュールで大変お疲れ様でした。2010年に向けて頑張りましょう。 首都圏 矢敷 克子



海勢頭豊代表もジュゴンを抱いて大活躍



東京ジュゴンちゃんデビュー

ぼく、会員になります！

アースデイで子供会員になってくれた小学生の永田健人君からお便りが届きました。

早速月曜日学校でチラシをくばりました！とくに一年生のこどもがきょうみをもってくれてうれしかったです。ぼくもこれからもっとジュゴンを助けてあげる方法を考えようとおもいます。ニュースレターが届くの楽しみにしてます。海も魚もみんな元気になれるように僕もがんばります。

永田健人

この日のためにがんばって作った折り紙ジュゴンの山。大好評であっという間になくなりました。



## 第4回 じゅごんの里ツアーに行こう！

「じゅごんの里」ツアー、今年は7月3日(金)～5日(日)の2泊3日で計画しました。昨年は大浦湾ツアーでアオサングやクマノミを観察。ヤンバルの沢歩きも楽しみました。今年のツアーの詳細はまだ決まっていませんが、「海・山・地元の方たちとの交流」を軸に昨年以上に有意義なツアーをと考えています。

- \* **ツアー料金は未定**ですが、昨年は往復飛行機代、レンタカー代、宿泊費(2泊)、船代、食事代(5食)ガイド料で東京発65000円、大阪発55000円でした。今年は飛行機代が高騰していますので**少し高くなる可能性があります**。
- \* **現地参加もOKです**。宿泊されない方、自家用車で参加される方などは、その分安くなります。
- \* お申込み、お問い合わせなど詳しくは首都圏事務所・関西事務所まで

大浦湾 第3回じゅごんの里ツアー



昨年は天候に恵まれ、海のみさを堪能しました

ジュゴンを守る仲間たち



野生生物を守ることは生活を守ること

こんにちは。関西の正阿彌 崇子(しょうあみ たかこ)と申します。SDCCの活動に参加させてもらって一ヶ月が経ちました。私自身はまだあまり動けていませんが、周りの方々の熱意にはとても刺激を受けています。小学生の頃から、環境保護や野生生物保護に興味を持ってきました。近年、環境保護の認識は広がってきたものの、野生生物保護となるとまだまだで、社会に浸透させるには何か一般の人に分かりやすいキーワードが欠けているように思えます。そのヒントはまだ見つかりませんが、知らないことだらけの私を温かく受け入れて、教えてくださる関西メンバーに感謝しつつ、色々なことを話し合いながら、いつかその答えを見つけ、活動をもっと大きくしていけたらと思っています。

野生生物を守ることは、最終的に人とその生活を大切にすることにつながっている。そんな風に誰もが思えるように、私にできることをひとつひとつ行っていこうと思います。

正阿彌 崇子



カンジャナさんからのプレゼント

2月セミナーで来日されたカンジャナさんからDVD 4枚とジュゴンの児童書4冊が送られてきました。児童書など冊子はタイ語なので翻訳を依頼中です。カンジャナさんの研究活動を放送したタイ・テレビ「SEA SERIES」には、野生のジュゴンの画像もきれいに撮影されています。事務所のライブラリーに置いておきますので、お立ち寄りください。

4/21 大阪アセス学習会



ニューフェイス  
登場!

ジュゴン茶会へお誘い♪

気軽にお茶でもしながら、ジュゴンのこと、沖縄の海のこと、いろんなことを話したり、ジュゴングッズを作ったり、ジュゴン折り紙を折ったり、みんなでゆるゆる〜と楽しめる時間を過ごしませんか。今回はカンジャナさんのジュゴンのDVDを上映します。必見!野生のジュゴンに会いに来てね。

日時: 5月17日(日) 14:00 ~ 16:00

場所: SDCC関西事務所

お茶とお菓子を準備してお待ちしています

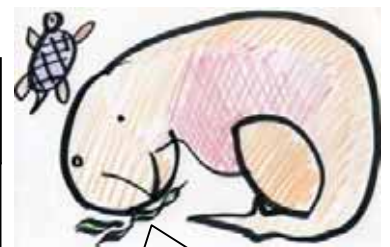
生物多様性とわたしたちの暮らし - 食べものを通して -

5月22日の生物多様性の日のシンポジウムに連動し、生物多様性がどう私たちの生活と関わっているかを伝える展示が開催されます。

場所 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル1F

期間 2009年5月9日(土) ~ 2009年6月6日(土) 開館時間: 10:00 ~ 19:30  
(土曜日は17:00まで) 休館日 : 日・月・祝日、第4金曜

このイベントに5/9 ~ SDCCも展示参加します。5/9のオープニングイベントではジュゴン折り紙教室を開催します 遊びに来て下さい。



参加しま〜す。

来てね

# ☆アセス準備書への意見書を出しましょう☆

今回沖縄防衛局が出している準備書は、「辺野古にジュゴンがないので、埋め立てても影響はない」など、ひどい内容のものです。「ジュゴンの複数年調査をせよ」「アセスのやり直しを!」「海を守って」などみんなの意見を送りましょう。意見書はどなたでも、何枚でも出すことができます。意見書は「ジュゴンの海を守れ! 基地反対」の世論を広げるチャンス! 多くの意見を寄せ、基地計画の見直しを求めましょう。意見書締め切りは5月15日です。

どんな用紙でもOKですが、よかったら同封の意見書用紙を使ってください。

問題点をまとめてあります。宛先(沖縄防衛局の住所とFAX番号)も書いてあります。

1枚ごとに**お名前**と**ご住所**を書いてください。

**郵送またはFAX**で送ってください(eメールは不可)。

意見書を送ったらSDCCにも同じものを送付してください(こちらはeメールでもOKです)。どんな意見が出されたのかを記録し、皆さまの意見を沖縄県知事やアセス審査会の委員にも届けます。



## CD「サンの島」好評発売中



### 海勢頭豊バンド

- 1、サン 2、トゥーヌー・マーヌー 3、ザンの海
- 4、帰れ太陽 5、月桃 6、喜瀬武原
- 7、七つ星のうた 8、トラジの花 9、ハルラ山
- 10、うりずん (全10曲)

\* 2,500円+送料120円でお送りします

### 海勢頭バンド\*コンサート

6月13日(土) 午後2時~3時

(リパティおおさか 大阪人権博物館)

6月14日14時~ (本澄寺・阪急電車上牧駅下車)

10月16日18時30分~ (名古屋西文化小劇場)

## 2月セミナー報告集 「2010年国際ジュゴン年 —基地ではなく「保護区」を—



読んでね!

セミナー報告集を発行しました。カンジャンナ講演や各報告の要約、わかりやすい用語解説・資料がいっぱい。ぜひ活用してください。400円カンパ+送料180円(A4版16ページ)

CD、報告集、一筆箋のお申込みは下記口座まで代金をお振り込みください。

口座名・・・ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号・・・00140-9-660199

お名前、住所、電話番号を忘れずに記入して下さいね。

**Editor's Note** 署名締め切り(5/11)がせまりました。意見書も集めないといけないう大忙し。でもここがふんばりどころです。このところ“必ず基地建設を止められる”“ジュゴンを守ることができる、という確信が強まってきました。皆さん意見書を出しましょう!

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.44 2009年4月28日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

Tel/Fax 03-5228-1377 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内

<http://www.sdcc.jp/>

[info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)

(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302

TEL/FAX 06-6353-0514

